

# 災害派遣職員が語る 被災地の現状

●問い合わせ 危機管理課  
(☎33-9119 ㊚33-1011)

市ホームページ  
「松本市の災害支援」



危機管理課 宮坂防災専門官／派遣日：1月14日～19日 派遣先：輪島市  
建築指導課 縣主査／派遣日：1月8日～10日 派遣先：<sup>なかのとまち</sup>中能登町、輪島市  
上水道課 上村係長／派遣日：1月2日～5日 派遣先：<sup>はくいし</sup>羽咋市



## 避難所

### 避難所の支援

約350人が避難生活を送る輪島市の高校に行きました。

炊き出し等の運搬・配食、物資の受け入れ・配布、パーテーションや段ボールベッドの設置、夜間の巡回など、避難者の生活支援を24時間態勢で行いました。

危機管理課  
宮坂防災専門官

県内の自治体で構成する「チームながの」の一員として、輪島市の避難所に派遣

### 避難所の様子

教室や体育館などを部屋として使用。プライベートな空間は限られ、当初はパーテーションや段ボールベッドなどの資材も全くありませんでした。感染症対策のため定期的な換気が必要で、寒さを感じるなか、常に床に横になっている高齢の方もいました。

### 支援を受け入れる体制

近隣自治体としては、支援に行きたくても行けない状態が続きました。地震発生から2週間後、被災地の支援受け入れ体制が整い、「チームながの」による派遣が始まりました。災害時に支援を受け入れる体制を作っておくことの重要性を再認識しました。

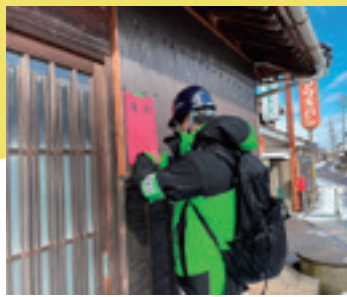
### 松本市災害時受援計画

松本市は令和2年に受援計画を策定し、**大規模災害時の行政機関や団体からの支援に対する受け入れ体制を整備**しています。今回の派遣で得た知見を受援計画に反映させていきます。

## — も く じ —

災害派遣職員が語る被災地の現状	2
令和6年能登半島地震義援金、松本市消防団团员募集	4
災害に備えて、市議会2月定例会、新型コロナワクチン接種	5
市議会12月定例会から、パブリックコメント募集	6
情報チャンネル	7
3月の相談日	15
大型プラスチック資源の分別にご注意を	16

# 住宅



## 建物の危険度判定

建物の入り口に、判定結果「危険」「要注意」「調査済」を掲示し、住人や通行人に危険度を示します。

明らかに危険な建物のほかに、安全に見えても余震で倒壊する恐れがある建物もあります。そのような建物に入ったり、近づいたりして怪我をしてしまう「二次被害」の防止を目的としています。



建築指導課  
縣主査

被災建築物応急  
危険度判定のため、  
中能登町と輪島市  
に派遣

## 災害時にも有効！ デジタルの活用

輪島市では、**iPadの活用により、現場で地図に書き込んだ調査内容を即座にデータ化され、迅速に情報が共有される仕組みが整っていました。**また、グループLINEにより、遠く離れた松本市役所でも現地の状況を把握することができ、以降の職員派遣に役立ちました。

デジタル機器の活用は、日常生活の中だけでなく、災害時にも有効だと強く感じました。



# 水道

## 被害が少なくても断水で生活困難に

羽咋市は、建物や道路の被害は少なく、見た目は松本と変わらない様子でしたが、断水が発生しました。復旧のめどがたっておらず、住民の皆さんは、終わりの見えない不安を抱えていました。

## 命をつなぐ共助の力

給水所となった小学校で、当初は1世帯に給水袋2袋(12リットル)を配布しました。ほとんどの方は車で給水に来ていましたが、車で行くことができない近所の方の分をもらって行く方もいました。**災害時は特に、地域のつながりや助け合いが重要**だと感じました。

## 家庭での備え

給水袋では足りず、ポリ容器を買ってくる方も大勢いました。羽咋市では、車で容器を買いに行くことができましたが、被災により道が分断されれば、行動が制限されます。そのような状況を想定して、必要になりそうなものを用意しておくなど、あらかじめできることをやっておくとよいと思います。



上水道課 上村係長

応急給水支援のため、  
松本から給水車で  
羽咋市に派遣



松本市公式LINEで  
「防災情報」を確認！

